

平成24年度

西郷村教育行政の点検及び評価報告

教育委員会の行政の執行状況については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、点検及び評価を実施することが義務づけられています。

西郷村教育委員会は、平成24年度の主な施策や事務事業の取り組み状況について点検及び評価を行いましたので公表します。

目的

教育行政の点検及び評価を行うことにより、課題や取り組みの方向性を明らかにし、教育行政のより一層の推進を図る。

また、報告書を作成し、これを議会に提出しさらに公表することにより、村民に信頼される教育行政を進展させる。

実施方法

- ①点検及び評価の対象は、毎年度策定する「西郷村教育委員会の教育行政基本計画」に掲げられた「基本目標の重点施策」について行う。
- ②点検及び評価は、毎年1回実施することとし、教育委員会の職員による「内部評価」と学校教育、生涯学習の関係者による「外部評価」を行う。
- ③「②」の内容を取りまとめたものを学識経験者に示し「第三者評価」を行う。
- ④内部評価、外部評価、第三者評価を取りまとめた報告書を村議会に提出するとともに公表する。

点検及び評価の基準

評価の基準は、項目ごとに次の4段階とする。

- A：目標を達成できた
- B：目標を概ね達成できた
- C：目標達成に改善を要する
- D：施策の見直しを要する

学校教育課関係の点検及び評価

西郷村では、教育基本理念を「自立と共生」と定め、基本目標を「可能性」と「かかわり」と「生きがい」を大切にしたい人づくりとし、学校教育関連の主要施策については

- ①「生き抜く力」を育み、「可能性」を実現する幼稚園教育、学校教育の推進
- ②安全・安心に配慮し、社会の変化やニーズに対応した教育諸施設などの整備充実と活用

③各種会議の充実と事務の適正な執行

④「人づくり」の原点は家庭を基本に、みんなで見守り、みんなで育む教育の推進

の4項目を掲げ、教育の推進をしてきました。

学校教育課では、東京電力福島第一原子力発電所の事故に対する学校等教育施設の放射能対策に全力で当たり、各学校、幼稚園の除染作業を実施するなど安全安心な環境づくりに努めました。学校給食については食材並びに給食1食分の事前検査を実施し安全な給食を提供し、その結果を公表しております。施設面では川谷中学校の屋内運動場の耐震補強工事が終了し、本村の公立学校の耐震化率は100%となりました。また、西郷第一中学校の駐輪場、テニスコートの整備を行い、平成25年度にはグラウンド整備と校内舗装を行うことで同校の環境整備が終了する見込みであります。

評価の結果は、「目標を達成できた」事業が33件、「目標を概ね達成できた」事業が15件になりました。この結果を踏まえ改善や方策を検討し、次年度以降の教育行政に繋げていきます。

「目標を達成できた」主な施策（A評価）

学校評価の実施・報告・公表・改善

全ての学校において学校経営ビジョンの工夫・改善を行い、統一項目も加え評価表を作成、内部及び学校関係者評価を実施した。また、その結果について設置者への報告と保護者並びに地域への公表を行い、学校運営の成果と課題の共有化と開かれた学校運営を図ることができた。

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの充実

スクールカウンセラーについては、各校で積極的に活用し、児童・生徒に対しても教職員に対しても成果を見ることができた。配置されていない学校からも要望があり、さらに配置を進めていけるよう県へ要望していきたい。また、スクールソーシャルワーカーについては、各校の活用への理解が進み、2学期以降は課題を抱えた児童・生徒についての聞き取りをもとに、ケース会議や家庭訪問等に取り組むなど、次年度の積極的な活用が期待できる。

「西郷村食育推進事業」と「お弁当の日」の実践

学校、家庭、地域が一体となつての食育の取り組みが定着し、食育推進協力校において公開授業を行い、村内全校の教員との連携を図り推進していくことができた。

また、お弁当の日や料理コンクールなど、食への関心を高める取り組みも行った。

防災教育の充実

今回の震災及び東京電力福島原発事故、また余震等に対して、日常的に防災教育に取り組むことができた。小学校によっては学級活動の時間に防災教育を取り入れるなどの工夫も見られた。さらに、学校安全のための各種マニュアルの見直しを図り、実効性のある安全計画への改善に努めた。

「子どもの安全見守り隊」活動の実践

地域の防犯意識の高揚と児童生徒の登下校における安全を図るため、情報の提供と隊員相互の連絡調整を行い、各校区とも活発な見守り活動が実施できた。

西一中運動場と環境整備の実施

西郷第一中学校の環境整備については年次計画で取り組んでおり、24年度は駐輪場（自転車340台）、テニスコート（オムニコート2面、クレーコート2面）を整備した。

川谷中屋内運動場耐震補強工事の実施

西郷村公立学校施設は、川谷中学校屋体の耐震工事が終了し100%完了となった。

「子ども宣言」の見直し

西郷村子ども宣言について、児童・生徒の代表による意見交換会を実施し、活発な意見交換を行ったことにより、子ども宣言に対しての意識化が図られ、主体的に取り組んでいこうとする態度へと結びついた。

「目標をおおむね達成できた」主な施策（B評価）

必四学習の推進

各学校において、必死で取り組む「必四学習」の計画を作成し、そのための具体的な実践項目を明らかにして日々の教育活動において継続して取り組むことができた。また、その成果を明らかにし、児童・生徒と共有することによって、達成感を味わわせ、「生き抜く力」を育てることができた。今後は、目標達成に至らなかった項目を課題として次年度につなげていきたい。

人権教育の推進

人権教育総合推進地域事業の委託を受け、先進地視察、研修を経て推進計画及び組織を立ち上げることができた。また、推進会議、推進委員会、担当者会議を開催し、学校を核として地域全体で推進する体制を作ることができた。さらに、子ども宣言2004についての意見交換会を実施し、児童・生徒の子ども宣言2004に対する意識化と主体的に取り組むための体制を

作ることができた。今後は職員、児童・生徒、保護者、地域住民の人権教育に対する意識の啓発を進め、村全体の取り組みがさらに活性化するように努める必要がある。

学力・学習状況の実態把握と改善

今年度は、全国学力・学習状況調査および県学力テストは予定どおり実施された。その結果、本村は「知識」と「活用」の両領域において、全国ならびに福島県と同じレベルの学力が身につけているという結果となった。今後も、下位児だけでなく上位児も伸ばすことのできる授業改善を図るとともに学習習慣、生活習慣の改善による「心力」「知力」「健康・体力」のバランスのとれた向上を図っていきたい。

小・中学校外国語教育、算数・理科教育の充実

外国語活動授業研修会で指導法及びALTの活用法を学び、外国語活動推進委員会を併せて開催することで、英語指導の技能を学び、児童・生徒の英語力向上につながった。ITの活用も図られた。また、算数部会も計画的に開催され、授業を通じた具体的な研修が進められた。理科教育については、学校教育推進員の訪問において授業力アップを図ったが、さらに研修の機会を設ける必要がある。

放射能学習の実施

各校の放射線教育については、すべての学年において1～2時間実施することができた。学校によっては外部講師を招聘し、専門的な知識をもとに指導することもできた。

次年度については、各校2時間程度の時数を確保し、発達段階に即した指導ができるように改善を図っていく。また、中学校においては外部講師を招聘しての授業や、授業参観における活用をしていきたい。

「目標達成に改善を要する」施策（C評価）

（C）の評価該当なし。

「見直しを要する」施策（D評価）

（D）の評価該当なし。

生涯学習課関係の点検及び評価

生涯学習課では、「自立と共生の人づくり」を生涯学習推進の目標に

- ①「生きがい」と「地域の教育力向上」に役立つ生涯学習の推進
- ②「かかわる」喜びを実感するスポーツや芸術・文化活動の継承と振興
- ③安全・安心に配慮し、社会のニーズに対応した教育諸施設などの整備充実と活用

の3項目を掲げ、生涯学習の推進を図りました。

村民の生きがいと地域教育力の向上を目指して、「西郷単位制総合大学」講座内容の充実、復興イベントとしての「音楽鑑賞会」の開催などで生涯学習関連事業の充実に努めました。また、シンボルスポーツ「健康ウォーキング」の実践、「ラジオ体操」の普及と啓発などで村民によるスポーツや文化活動を通して、かかわる喜びを実感する協働の村づくりを推進しました。

事業全体としては概ね達成の評価を得ることができ、特に「少年の主張大会」やシンボルスポーツ「健康ウォーキング」の実践などで高い評価を得ています。

評価の結果、「目標を達成できた」事業が8件、「目標が概ね達成できた」事業が19件でした。

「目標を達成できた」主な施策（A評価）

「西郷単位制総合大学」の講座内容の充実

必修講座は計画通り実施できた。各講師による講義内容は大変充実したものであった。特に、新規に計画した講座は、学生のニーズに応えることができた。また、講座内容の充実により、学生の出席率は前年度より高くなった。

「少年の主張大会」の実施

200名近くの村民が集い、少年の主張大会は成功裡に終了した。小、中学生の主張発表は内容も態度も素晴らしく、日頃の学校教育の充実が垣間見られた。各学校における主体的な取り組みや教師の指導努力に感謝である。PTA代表となった母親の主張も大会を盛り上げ、川谷出身の塩川哲也氏の特別講演も大変好評であった。継続は力なりで、第19回主張大会の冊子も読みごたえのあるものになった。

放課後子ども教室・学校支援事業の実施

コーディネーターやスタッフにより、各学校の理解を得ながら活動を行うことができおり、定例会議を行うことで、学校区（教室）ごとの情報の共有化もスムーズに実施されている。

その一方で、新たなスタッフの確保が難しく、今後制度を続けていく上での課題と言える。

復興イベントとしての「音楽鑑賞会」の開催

8回目となる今回は西郷第一中学校体育館で開催した。村内からは各小・中学校の他に西の郷少年少女合唱クラブとコーラスにしごうが参加した。村外からは全日本合唱コンクール東北大会で銀賞を受賞した会津若松市立一箕中学校を招待し発表を行った。ステージでは各出演者とも練習の成果を発揮し、すばらしい音楽鑑賞会となった。

シンボルスポーツ「健康ウォーキング」の実践

「歩いて文化財めぐり」特設コースで開催した「ふるさと講座」は、毎回20名前後の参加者があり、健康づくり、体力づくりに加えて、村内の歴史を学ぶ事ができた。

図書ボランティア活動の充実

図書ボランティアに登録された方々はそれぞれに、定期的な「読みきかせ会」や図書室掲示の作成・小中学校での活動など自分たちがやりたいことを見つけ、自主的な活動が円滑にできてきている。会津若松市立会津図書館等の見学や講座を開催しスキルアップを図った。

体協・総合型地域スポーツクラブへの支援

体協・総合型地域スポーツクラブへの支援は達成している。今後はパークゴルフ等の冬期練習時のトイレ確保を検討する。

「目標を概ね達成できた」主な施策（B評価）

「屋内プール」の建設計画

文部科学省の学校施設環境改善交付金事業として、169,099千円の交付が決定し、プール改築工事を既存の場所で計画していたが、交付決定後に敷地については、大震災などへの配慮も充分加味し、再検討する必要が生じたため、工事の実施を中止した。

「中学生海外派遣事業」の実施と今後の検討

中学生海外派遣事業は、平成7年以降、友好都市を締結している中国天津市薊県へ派遣してきたが、平成24年度については中国との関係悪化もあり、23年度に引き続き、天栄村のブリティッシュヒルズで英語研修を含めた異文化体験事業を実施した。今後も中国との関係は不安定な状況が続くものと予想されるため、25年度についてはタイ王国へ中学生を派遣し、地元の高校生との交流会などを通じ、充実した異文化体験事業を実施したい。

スポーツ関係者指導力向上のための研修実施

福島市 おにざわ接骨院 院長 鬼澤武則氏を講師に「けが予防のためのストレッチング」と題して、スポーツ関係者指導力向上のための研修会を実施した。

「西郷村第2次生涯学習推進計画」の見直し

6年が経過し、その間に生涯学習の振興に関する国の答申があり、震災や原発事故の発生など社会情勢が一変したため、答申や震災復興、放射線問題を付加し、内部で事業実施計画の見直し（廃止、新規、継続）を行った。今

後、生涯学習推進本部を開き、意見を聴く予定である。

「夏休み子ども英会話教室」の実施

平成24年度は小学5・6年生と中学生の2クラスで開講した。どちらのクラスもゲームを取り入れての授業が多かったこともあり、他校の児童生徒ともすぐに打ち解け、楽しく受講できていた。今後は小学生の参加がさらに増えるよう工夫していきたい。

「本物にふれる文化活動推進事業」の実施

東日本大震災復興支援イベントとして寺内タケシとブルージーンズスクールコンサートを西郷第一中学校体育館において開催した。“エレキの神様”と称される寺内さんの迫力あるエレキサウンドが来場者を魅了した。コンサートの途中で寺内さんとブルージーンズの演奏に合わせ、西郷第一中学校応援団による「赤とんぼ」と「ふるさと」の合唱が行われ、最後は来場者全員で“ふるさとの復興”を胸に熱唱した。

「目標達成に改善を要する」施策（C評価）

（C）の評価該当なし。

「見直しを要する」施策（D評価）

（D）の評価該当なし。